

いわき民報夕刊

平ステーションビル会社

管理会社の名称決る

駅前に地下街を建設

資本金は二千万円

20日ころに設立総会

出店者からは新たに公募

発起人が55%引受け

同審議された会員登記は発行株を十六万株(一株五百円、八千円残る一万九千株(九百五十万円)とし、設立当初の発行株は四万株(二千円)で発足する。この軽金属会社と一般に公募

ステーションビルとデパート

野沢 むさし

平駅の改築に便乗して民衆表する人々で、経済力の点はもとより、十日開かれた促進協議會で、市議社の名前を「平ステーション」と決定。この内閣が民衆駅管理會社に委託されるとことになったのは、福島市を始め民衆駅のある都市が一市内、監査役を二人以内選出する事業目的は、日本国有鉄道平駅本屋改築に対する協力とこれに付属する建物の建設(平駅前地下街の建設)日本国有鉄道が主たる目的である。

選任されたことは疑いない。管理會社の出資とビルの販賣も平市内に出售する予定。

発起人は、内に出售する裏地権を自然切り離す構想はないが、ステーションビルの商業性が根本的に趣きを異ねないものではない。これは

これが馬鹿のものではない。これは

これまで平市の姿を美化しようとする意図の裏であります。

馬鹿のものではない。これは

これが馬鹿のものではない。これは

